

北海道議会時報

第28卷 第9・10号



北海道議会事務局

(表紙写真説明)

天然記念物 オジロワシ

ワシタカ科オジロワシ属。雌雄同色で体は褐色、嘴は淡黄色、脚は黄色、尾羽は白色で12羽。翼は開長2メートル近く(雌は雄よりやや大きい)、わが国猛禽類中最大級のものである。尾羽は、はじめ褐色であるが、次第に白色を増し、3年位で純白となる。

食物として、サケ・マス等魚貝類、ノウサギ、ネズミ等の獣類、カモ、カラス等の鳥類をとらえる。単独で生活することが多いが、繁殖期には幼鳥を伴うものもある。巨大な高木に営巣し、3～4月頃灰白色無紋の卵を普通2ヶ産み、雌雄交替で抱卵する。巣は毎年同じものを用いることが多く、20年も続いた例が知られている。

日本にすむワシは、オジロワシ、オオワシ、イヌワシの3種であるが、最もよく見られるのがオジロワシである。シベリヤ、カラフト、千島、カムチャツカ半島等で繁殖し、冬には一部南下して、北海道をはじめ、本州、四国、九州等まで渡り越冬する。かつて、北海道においては、かなり各地で繁殖していたらしいが、現在では、根室、釧路、網走等オホーツク海岸の林地に営巣が見られるが、その数は極めて少ない。

(写真提供 根室商工会議所 近藤英司氏)

委員会の動き

常任委員会	1
特別委員会	6
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
決算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	15
都道府県議会議員共済会	15
10都道府県議会議長会	15
北海道東北6県議会議長会	16

8・9月のメモ

議 会 日 誌



▶ 8 月

- 2 日 総務、商工労働、農務、文教林務各委員会
- 3 日 総務、厚生、建設、農地開発、水産、総合開発調査特別各委員会
- 5 日 総務委員会
- 9 日 } 企業会計決算特別委員会
- 18 日 }
- 19 日 }
- 23 日 総合開発調査特別、石炭対策特別各委員会
- 24 日 } 企業会計決算特別委員会
- 25 日 }
- 27 日 決算特別、企業会計決算特別各委員会
- 28 日 } 決算特別委員会
- 30 日 }
- 31 日 }

▶ 9 月

- 1 日 農務、農地開発、総合開発調査特別各委員会
- 2 日 水産委員会
- 3 日 総務、厚生、商工労働、建設各委員会
- 6 日 農務委員会
- 7 日 文教林務委員会
- 21 日 議会運営委員会
- 22 日 (第3回定例会を9月29日に招集する旨を告示)

委員会の動き

常任委員会

総務委員会

○8月2日(月) 午後3時25分、第5委員会室において開議、午後5時50分散会、委員長 作田 政次(自民)

一般議事

- ① 委員長から、本日の議事は、招集請求に基づく北海道警察本部が行なった北海道教職員組合に対する捜査及び幹部逮捕に係る警察行政に関する件である旨を報告。
- ② 塚本 肇委員(社会)から、公共の福祉と個人の基本的人権に対する見解及び幹部逮捕の法的根拠、労働裁判の歴史的経過に対する所見、証人尋問の法的見解と逮捕状の請求内容等について質疑及び意見があり、道警本部長から答弁。議事進行の都合により午後4時26分休憩、午後5時45分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○8月3日(火) 午後3時5分、第5委員会室において開議、午後4時55分散会、委員長 作田 政次(自民)

一般議事

- ① 委員長から、本日の議事は、昨日の委員会における質疑の続行である旨を報告。
- ② 道警本部長から、昨日の塚本委員の質疑に対する補足答弁の後、
塚本 肇委員(社会)から、逮捕状請求の理由、拘留請求却下との関連、身柄拘束と取調べとの関連、筆跡鑑定の方法と指導要録押収の適否について、
一野坪 勉委員(社会)から、逮捕理由の妥当性、捜査の基本方針と実態、指導要録の押収の適否等について、
池島 信吉委員(社会)から、指導要録の押収と捜査令状の内容等について、
吉田 英治委員(社会)から、捜査の時期と逮捕の理由、ストの影響に対する判断と判例に対する所見等について、
質疑、意見及び要望があり、道警本部長及び警備部長から答弁。

○8月5日(木) 午前11時15分、第5委員会室において開議、午前11時38分散会、委員長 作

田 政次(自民)

開議に先だち、道及び道警本部の人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

一般議事

- 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長から、昭和52年度北海道開発予算主要要望事項について説明。

○9月3日(金) 午後2時5分、第5委員会室において開議、午後5時20分散会、委員長 作田 政次(自民)

開議に先だち、道警本部幹部職員の異動による紹介があった。

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した過疎対策推進状況及び警察施設等に係る道内調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 委員長から、過疎対策推進状況及び警察施設の道内調査並びに国費予算に関する中央折衝の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 道警本部長から、道庁爆破事件の捜査状況について説明。
- ④ 総務部長から、伊達火力発電所移送取扱所の設置許可について説明の後、
吉田 英治委員(社会)から、請願審査中に許可をした考え方、具体的な指摘事項の取扱い及び移送取扱所の安全性、住民とのコンセンサスなど設置許可の判断、今後予想される紛争が生じた場合の道の責任について
質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁の後、
一野坪勉委員(社会)から休憩されたい旨の議事進行発言があって、午後2時45分休憩、午後4時40分再開。引き続き、
吉田 英治委員(社会)から、住民の安全確保の重要性と許可に至った事情の明確化、伊達・室蘭両市の同意条件の解決、防災協定締結の考え方、問題点の解明など今後の対処のあり方等について
質疑及び意見があり、総務部長から答弁。
- ⑤ 村本 三郎委員(道政)から、自衛隊機の墜落事故に関し、道のとった措置と今後の対策について
質疑及び要望があり、開発調整部長から答弁。

厚生委員会

○8月3日(火) 午後1時30分、第9委員会室において開議、午後1時45分散会、委員長 高橋 正四郎(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した公衆浴場の確保に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。
- ② 民生部長及び衛生部長から、昭和52年度道開発関係主要要望予算についてそれぞれ説明。

○9月3日(金) 午後1時47分、第9委員会室において開議、午後2時5分散会、委員長 高橋 正四郎(自民)

一般議事

- ① 民生部長から、東部シベリヤ墓参の実施について説明。
- ② 伊藤 豪委員(道政)から、1.5歳児の健康診査実施の方針と意義及び体制整備の必要性、3歳児健康診査の未受診者の実態把握と対応策について質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

商工労働委員会

○8月2日(月) 午後1時32分、第8委員会室において開議、午後2時4分散会、委員長 野中 富雄(社会)

開議に先立ち、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

一般議事

- ① 高江 良男委員(社会)から、さきに実施した商工労働事情に関する道内調査の概要について報告の後、青木 延男委員(社会)から、道内調査結果の行政への反映、稚内職業訓練校寄宿舎の新設の時期、設備近代化資金の内容改善、離島に対する格差是正の考え方について、委員長から、海峡運賃の助成、稚内職業訓練校寄宿舎の来年度の見通しについて質疑、意見及び要望があり、労働部長及び商工観光部長からそれぞれ答弁があって、異議なく報告を了承。
- ② 商工観光部長、労働部長及び公営企業管理者から、昭和52年度北海道開発関係予算主要要望計数についてそれぞれ説明。

○9月3日(金) 午後1時15分、第8委員会室において開議、午後2時10分散会、委員長 野中 富雄(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した家庭用灯油及びプロパンガスの価格抑制と安定供給、休業止鉱山の鉱害防止並びに季節労働者の雇用安定に関する中央折衝の概要

について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 労働部長から、職業病センター設置構想について説明の後、

高田 忠雄委員(道政)から、センターの運営費に対する国及び道の助成並びに今後の対策について質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。

- ③ 湯本 芳志委員(社会)から、プロパンガスの値上りと北海道価格の解消との関連、離島・辺地の価格動向、値上りに対する道の対策と実施の時期、地域による価格のバラつき解消の対策等について、

大場 有一委員(自民)から、業界の体質改善と金融対策並びに道の指導について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

農務委員会

○7月16日(金) 午前11時15分、第7委員会室において開議、午後零時24分散会、委員長 東典俊(自民)

一般議事

- ① 農務部長から、農作物の生育状況等について説明の後、

舟山 広治委員(社会)から、降霜による推定被害額について

質疑があり、農務部長から答弁。

- ② 農務部長から、昭和52年度農業関係国費予算要望事項について説明の後、

岡本 栄太郎委員(社会)から、新規のてん菜及び酪農関係事業の農家側の受入れ体制、草地土壌改善総合対策事業の基本的な考え方と一般土地改良事業との関連及び公共事業的な扱いの必要性、てん菜酪農推進事業の見直しの必要性及びてん菜奨励金の要望方法等について、

北村 義和委員(自民)から、新酪事業の本道農業振興上の位置づけに関する検討の必要性、雄子牛育成を酪農経営の一環とした推進方、大学試験研究機関と生産者との連携強化の必要性、流通体制の合理化、特に生産流通の基地としての家畜市場の整備方等について、

藤井 虎雄委員(社会)から、農地等取得資金の小規模農家の貸付け対象化、農業近代化資金等による機械購入の系統の手数料率の実態と検討改善方等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長、農業経済課長、畑作振興課長及び酪農草地課長から答弁。

- ③ 委員長から、農業事情に関する道内調査の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期及び

派遣委員等については、委員長に一任することとした。

(都合により、8月以降の分は次号に掲載)

建設委員会

○8月3日(火) 午後2時16分、第4委員会室において開議、午後3時36分散会、委員長 田 莉子 政太郎(自民)

一般議事

- ① 委員長から、北海道住宅対策審議会委員について、理事会で協議の結果、田莉子政太郎委員長、佐藤幹夫委員(自民)、熊谷克治委員(社会)及び小野秀夫委員(道政)を推選することとばかり、異議なくそのことに決定。
- ② 土木部長から、仁頃川災害復旧助成工事等に係る専決処分予定案件7件について説明。
- ③ 土木部長及び住宅都市部長から、昭和52年度北海道開発関係予算主要要望事項についてそれぞれ説明。
- ④ 委員長から、昭和52年度北海道開発関係予算に関する中央折衝及び道内の建設事情調査の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ⑤ 土木部長から、北海道建設業審議会のその後の経過について説明。
- ⑥ 合坪 正三委員(社会)から、伊達パイプラインに関し、施設の内容と道路法、河川法との関連、道路保全、環境保持の面からの地元住民対策、住民の権利の確保と対話に対する措置について、
熊谷 克治委員(社会)から、関連して、土木部の対処方針と消防法の関連及び判断の中立性について、
小堀 秀次委員(社会)から、(1)がけ地近接危険住宅移転事業に関し、行政指導の範囲と私有財産権との関連及び道の責任分野、網走地区の実地検査の時期及び検査の十全性、(2)建設工事の発注率、分離・分割発注の結果、地元業者への発注状況、工事入札の適正な執行、共同企業体の内容、前年度実績の取扱い方等について
質疑、意見及び要望があり、土木部長及び住宅都市部長から答弁。

○9月3日(金) 午後1時50分、第4委員会室において開議、午後3時8分散会、委員長 田 莉子 政太郎(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和52年度北海道開発関係予算に関する中央折衝並びに根室及び網走支庁管

内における建設事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 住宅都市部長から、道営住宅家賃の不均衡是正について説明。

- ③ 土木部長から、前回の委員会において答弁保留の伊達パイプラインに関して答弁の後、

合坪 正三委員(社会)から、委員会への報告の時期、消防法に基づく認可と土木部との関連、総務部の説明会に土木部職員が参加した理由、消防法による許認可と道路法、河川法による許可の基準、申請に対する今後の取扱いについて、

熊谷 克治委員(社会)から、消防法に基づく認可と土木部との関係、北電の申請と行政指導の関連、専門員の技術的な審査に対する土木部の関与、環境保全に関する意見の表明と今後の認可審査との関連、環境保全プロジェクトチームの構成と具体的な検討内容並びに今後の道路法、河川法に基づく許認可の指導方針について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

- ④ 土木部長及び住宅都市部長から、前回の委員会において保留の工事発注状況について答弁の後、

寺崎 政朝委員(自民)から、建設業者の倒産状況、登録業者数、今後の工事発注の見通し、ランク別工事発注件数、今後の業界指導の方向、電算機による企業診断の現況について

質疑、意見及び要望があり、土木部長及び住宅都市部長から答弁。

農地開発委員会

○8月3日(火) 午後1時56分、第2委員会室において開議、午後3時3分散会、委員長 津川 直一(道政)

一般議事

- ① 農地開発部長から、昭和52年度開発関係予算重点要望事項の概要について説明の後、

青山 正男委員(自民)から、耕地の石れき除去に関し、事業化の要望の有無と見通しについて、

石山 直行委員(自民)から、畑継事業に関し、予算要求の伸び率の妥当性と積極的な要求方、国の予備費の活用の見通しと早期の運用方について、

渋谷 澄夫委員(社会)から、工事の発注に関し、地元の中小業者に対する発注状況及び2定議決予算の発注状況、今後の発注に対する地元中小業者への配慮方について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

- ② 渋谷 澄夫委員(社会)から、(1)5月に発生した労

災事故に関し、その経過と遺族補償の問題及び監督官庁との関連、事故発生後すみやかな指名停止措置の必要性、指名業者の辞退申し出の時期と指名停止に至る道の判断経過及び指名停止の期間、労災事故予防に対する今後の業者指導の方針と徹底した指導方、(2)地崎工業の農地法違反問題に関し、事実関係の了知時期及び指名業者としての適格性、(3)伊達火災パイプライン問題に関し、部として関係する事項の有無及び次回委員会までに報告方について
質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

○9月1日(水) 午後1時32分、第2委員会室において開議、午後3時20分散会、委員長 津川 直一(道政)

一般議事

① 委員長から、さきに実施した昭和52年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 農地開発部長から、昭和52年度北海道開発公共事業概算要求の概要並びに道営大樹地区営農用水事業頭首工等工事ほか1件に係る専決処分予定について順次説明。

③ 農地開発部長から、51年度の工事発注状況並びに伊達パイプラインに関する前委員会における答弁保留事項について説明の後、

渋谷 澄夫委員(社会)から、パイプライン問題に関し、パイプライン設置認可が農地開発部所管工事に及ぼす影響と意見、受益者負担増等に対する配慮方について、

影山 豊委員(社会)から、今後実施される国営パイロット計画への障害の有無、今後の土地改良事業を含めた検討方、道営土壌侵食防止事業に対する影響等再点検の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

④ 影山 豊委員(社会)から、苫東用地の追加買収に関し、買収予定地のうち、農地開発部所管分の面積と買収進度、買収交渉の遅延による来年の営農計画への影響の回避方、補助金返還を要する土地改良事業の概要と補助金返還の農家からの免除方、買収農地の一部について、道が誤って重複処分した問題の事実関係、その原因と防止策、関係両者の納得のいく早期解決方、この問題に関する会計検査院の指摘の有無等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

水産委員会

○8月3日(火) 午後2時3分、第6委員会室において開議、午後3時18分散会、委員長 松浦 義信(自民)

請願、陳情の審査

請願

第120号 根室湾内秋さけ漁業秩序確立に関する件
(採択)

砂原 清治委員(社会)から、請願の第4項目「共同漁業権、沿岸さけ刺網漁業の再検討」の願意について質疑があり、委員長から応答、水産部長から答弁。

一般議事

① 水産部長から、国連海洋法会議第5会期について説明。

② 水産部長から、昭和52年度北海道水産関係開発予算について説明の後、

砂原 清治委員(社会)から、計数とカ処分等の関連について、

川崎 守委員(共産)から、浜中漁協組合員の漁業近代化資金不正利用、融資手続、信漁連の資金支払い先、見積書等発行の会社名について

質疑があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により午後2時34分休憩、午後2時41分再開し、引き続き、

川崎 守委員(共産)から、(1)監査実施回数と人員、補助金返還の考え、(2)小島漁協組幹部の不正事件に関し、常例検査の実施状況、検査後の指導のあり方、不正事件の未然防止対策等、(3)漁業経営安定対策について

質疑及び意見があり、水産部長から答弁。

本日聴収した陳情

第3回国連海洋法に対する本道の対応策について

北海道海洋法対策委員会代表

○9月2日(木) 午後2時10分、第6委員会室において開議、午後4時11分散会、委員長 松浦 義信(自民)

一般議事

① 委員長から、さきに実施した留萌支庁管内の水産事情調査及び昭和52年度北海道水産関係開発予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 水産部長から、日米漁業交渉会議の概要について説明の後、

川崎 守委員(共産)から、経済水域200海里決定

による北海道への影響及びその主なる魚種について
質疑があり、水産部長から答弁。

③ 委員長から、他府県水産事情調査の実施については
かり、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員
等については、委員長に一任することとした。

④ 砂原 清治委員（社会）から、(1)戸井西部漁協の不正融資事件に関し、事件の内容及び現地調査の実施方、信用事業の範囲及び貸付目的・貸付額の再検討方、検査実施数と検査方法及び検査のあり方、債権保全等取捨方策の考え方、(2)松前小島漁協における潜水器使用漁業の実態と経緯、組合運営の是非、実態に即した許可等そのあり方等について、(3)ソ連、米国による漁船だ捕に関し、原因の把握、外務省へのだ捕通告の有無、米国主張の領海の距離、漁民に対する道の指導内容、外交ルートによる抗議の必要性等について、

川崎 守委員（共産）から、(1)小島漁協の浜売りに関し、許可方針変更の有無、トラブルの原因、現地調査の有無、方針の一貫性等、(2)銭亀沢中央漁協の不正事件に関し、その経緯、本庁の現地調査と積極的指導、支庁からの事件に対する報告のあり方、通達、一斉点検の性格、事件統発に対する所見等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長及び漁業調整課長から答弁。林勝委員（自民）から、支庁からの報告に係る川崎委員の質疑に関し議事進行発言があって、午後3時40分休憩、午後3時46分再開。川崎委員から休憩前の発言について趣旨説明の後、引き続き、

川崎 守委員（共産）から、一斉点検の実実施計画と結果発表の考え方、道水産業協同組合育成審議会のあり方及び点検結果を含めた組合の育成強化策諮問の考え方等について、

伊藤 武一委員（公明）から、漁協への無通告監査実施の考え方、宮沢外相の北方領土視察時における本道漁民の声の反映、ソ連漁船による漁具被害の補償手続の進捗状況等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

文教林務委員会

○8月2日（月） 午後2時2分、第10委員会室において
開議、午後5時17分散会、委員長 笠
島 保（社会）

一般議事

① 委員長から、さきに実施した昭和52年度国費予算要望に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

② 教育長から、札幌丘珠高等学校校舎新築騒音防止対策第2期第2次工事は3件の専決処分予定事業につ

いて説明。

③ 林務部長から、昭和52年度林業関係開発予算について説明の後、

本間 喜代人委員（共産）から、育林事業の労賃単価の妥協性について

質疑があり、造林課長から答弁。議事進行の都合により午後2時13分休憩、午後3時8分再開。

④ 若狭 靖委員（自民）から、北教組の5・19ストに関し、幹部の釈放に対する見解、北教組幹部の逮捕以前までの交渉経過、交渉の円満な解決の見通し、スト処分に対する見解と勇断をもった措置方について、

保格 博夫委員（社会）から、(1)北教組の5・19ストに関し、その目的の理解について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁の後、答弁調整のため午後3時24分休憩、午後3時27分再開し、教育長から補足答弁の後、引き続き、

保格 博夫委員（社会）から、ストの目的に対する認識、小樽高島小の指導要録押収に係る市教委からの報告内容と教育長の見解、押収書類の返還期日、指導要録の取扱い方針と学校教育法上の位置づけ、押収時の状況と地公法上の所見及び指導のあり方、押収の目的と被疑者及び実情を調査しない理由、道警捜査に対する実態把握の有無と申入れを行わない理由、捜査の行過ぎに対する考え、子供に影響ある事項に対する教育上の配慮の必要性、(2)主任手当に関し、基本的な見解、主任の制度化と待遇改善問題との関連、人確法に基づく待遇改善の考え方、人事院の人確法に基づく主任手当勧告の関連、(3)帯広白樺学園高校の紛争問題に関し、その現状と代理人による組合交渉のあり方、本学園に対する道費助成の状況、学校長の勤務態様に対する道の指導上の責任、一部教員の雇備形態、道費助成の凍結等の強力な措置と早期解決方、委員会として現地調査等の措置方等について、

本間 喜代人委員（共産）から、財団法人国際協会の運営問題に関し、その現状と対策、理事会が機能していない現状と指導の必要性、道教委の公益法人に対する指導体制の強化方等について

質疑、意見及び要望があり、教育長、指導部長及び学事課長から答弁、委員長から応答。

本日聴収した陳情

南幌高等学校の道立移管について

南幌町長

○9月7日（火） 午後2時43分、第10委員会室において
開議、午後5時45分散会、委員長 笠
島 保（社会）

一般議事

① 委員長から、さきに実施した空知及び留萌支庁管内

における文教林務事情調査の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 教育長から、公立高校入学選抜改善研究協議会における協議経過について説明の後、

本間 喜代人委員（共産）から、入選協の今後の検討の目途と高校新・増設との関連、道公私立高等学校協議会の内容と入選協との関連、千葉県総合選抜制廃止に対する見解について、

保格 博夫委員（社会）から、総合選抜制実施に対する教育長の考え方と入選協の使命、具体的な間口増計画の明示と53年度実施の見通し等について質疑及び意見があり、教育長から答弁。

- ② 林務部長から、昭和52年度道林業関係開発予算要求について説明の後、

野村 権作委員（自民）から、造林事業の下刈に対する助成状況と今後の強化要請の考え方について、

小笠原 孝委員（自民）から、造林事業費の低い伸び率による支障と将来目標等について質疑があり、林務部長から答弁。

- ③ 林務部長から、干ばつによる道内造林の被害状況について説明。議事進行の都合により午後3時38分休憩、午後3時59分再開。

- ④ 保格 博夫委員（社会）から、(1)小樽市高島小学校の指導要録の押収に対する教育長の見解と対処のあり方、(2)帯広白樺学園に関し、労使交渉の条件及び交渉の経過と解決の目途、管理運営費補助の取扱い、生徒数半減の現状と適正配置計画における取扱い、道の今後の指導強化の必要性等について、

本間 喜代人委員（共産）から、(1)小中学校の記念行事に関し、PTAの多額な寄附金募集に対する見解と指導のあり方、深川小学校に対する調査の有無、(2)宿日直代行員の賃金に関し、勤務の実態把握と根本的な検討の必要性、(3)国際協会に関し、現在までの指導経過、解散議決と届け出等の関連等について質疑、意見及び要望があり、教育長、管理部長及び学事課長から答弁。

本日聴収した陳情

道立高校の新設について

函館市議会議長

足寄高校の増口増について

足寄高校普通科間口増設期成会長

羅臼高校校舎の改築について

羅臼町長

特別委員会

総合開発調査特別委員会

- 8月3日（火） 午後3時55分、第1委員会室において開議、午後4時26分散会、委員長 深山 和樹（自民）

開議に先立ち、人事異動に伴う幹部の紹介があった。

- ① 開発調整部長から、昭和52年度北海道開発関係予算の重点要望事項及び新計画の策定についてそれぞれ説明。

- ② 委員長から、昭和52年度北海道開発関係予算に関する中央折衝並びに他府県の開発事情調査の実施については、異議なくそのことに決定。実施時期、派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- 8月23日（月） 午後2時57分、第1委員会室において開議、午後4時43分散会、委員長 深山 和樹（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した昭和52年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 開発調整部長から、苫小牧東部開発株式会社に関する株主問題について説明の後、

本間 喜代人委員（共産）から、丸紅の石狩開発会社株主問題に関し、辞退の意向の有無と折衝経過及び辞退勧告の必要性について質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。

- ③ 影山 豊委員（社会）から、苫東着工問題に関し、着工見合せの要望に対する開発局等の対応、住民の納得を得るという方針と着工との関係に対する見解、7月24日の入札実施に関する道への相談の有無、入札実施に対する抗議の必要性、入札に関し事前入札又は談合の事実関係と調査方、本年度の作業船溜りの工事内容と完成時期、東水路海側の未買収民有地に関し、地権者との話し合いの必要性、海面下の土地に対する見解とこの種事例の有無、海岸浸食による土地の環境問題についての対処方法、潮流に関する調査の有無、防波堤築造による影響に対するアセスメントの必要性、浸食防止のための緊急対処方の申入れ、公有水面埋立法の許可前に工事を実施することの是非等について質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及び大規模工業基地開発事務局長から答弁。答弁調整のため午後4時30分休憩、午後4時42分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

- 9月1日（水） 午後2時3分、第1委員会室において開議、午後5時37分散会、委員長 深山 和樹（自民）

山 和園（自民）

- 開発調整部長から、さきの委員会における影山委員の質疑に対する答弁の後、

影山 豊委員（社会）から、岩倉組土建の作業機械の事前搬入の事実関係、日軽金の工事の受注業者と入札における談合の事実関係及び基本的な考え方、船溜り計画を含めて港湾計画を変更した時期、船溜り・連工事に対する公有水面埋立法の許可手続との関係及び地元の議決を経ないで着工したことに対する見解並びに港湾法の解釈、特定又は重要港湾で海側から港湾建設を行なった事例の有無、計画変更に伴う環境保全計画作成の有無、潮流調査の時期、当初の環境保全計画で計画変更後にも対応可能な根拠等について

質疑及び意見があり、開発調整部長及び大規模工業基地開発事務局長から答弁。議事進行の都合により午後4時42分休憩、午後5時再開し、大規模工業基地開発事務局長から補足答弁の後、引き続き、

影山 豊委員（社会）から、港湾法に係る運輸省通達に適應する環境アセスメントの提出の有無と今後環境保全に配慮方について、

本間 喜代人委員（共産）から、着工に当たり国と関係自治体間での意思統一の有無、早期着工の要望の有無、地元及び全道的な反対運動の了知状況並びに早期着工に対する見解、着工時の港湾事業費の額等について

質疑及び意見があり、開発調整部長及び大規模工業基地開発事務局長から答弁。議事進行の都合により午後5時30分休憩、午後5時36分再開し、本日の議事はこの程度にとどめることに決定。

石炭対策特別委員会

- 8月23日（月） 午後1時55分、第8委員会室において開議、午後4時10分散会、委員長 佐藤 幹夫（自民）

開議に先立ち、人事異動に伴う幹部職員の紹介があった。

- ① 委員長から、さきに実施した幌内炭鉱の完全復旧及び石炭政策に関する中央折衝、産炭地域6団体連絡協議会代表者会議出席、道内の産炭地事情調査並びに石炭問題懇談会及び中央折衝の概要について報告書により報告、異議なくこれを了承。

- ② 商工観光部長から、幌内炭鉱の復旧再建に関するその後の状況について説明の後、

一野坪 勉委員（社会）から、知事と北炭社長の話合いの結果、再建対策の現状認識と縮小再建案に対する道の対処方針、閉山阻止についての道の見解と決意

表明、石鉱審の道内関係者に対する働きかけ等について、

石川 十四夫委員（道政）から、北炭の3山合理化問題に対する道の具体的対策について、

石山 直行委員（自民）から、北炭の再建資金調達の見通し、経営内容の把握、再建と合理化の関連について、

山家 勇委員（社会）から、夕張新鉱と再建との関連について、

渡辺 省一委員（自民）から、幌内再建と北炭合理化の分離、今後の具体的対策について

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後3時30分休憩、午後3時50分再開し、委員長から、理事会協議の結果、今後の当委員会の行動について、理事会に一任することをはかり、異議なくそのことに決定。

- ④ 工藤 万砂美委員（自民）から、災害対策融資制度創設の具体化について、

石川 十四夫委員（道政）から、石炭ガス化センターの計画に対する道の考え方について、

山家 勇委員（社会）から、道独自の資金対策、産炭地域振興計画改訂のスケジュールとプロジェクトチームの提言との関連、道路問題の取組み方等について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

決算特別委員会

- 5月7日（金） 午後4時8分、第1委員会室において開議、午後4時9分散会、委員長 影山 豊（社会）

- ① 今後の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。

- ② 5月8日から20日までは委員会を開かず、書面審査を行なうことに決定。

- 5月21日（金） 午前11時6分、第1委員会室において開議、午後5時19分散会、委員長 影山 豊（社会）

- ① 報告第2号を議題とし、総体質疑に入り、

砂原 清治委員（社会）から、仁木町助役人事に係る副知事の介入の事実及び見解について

質疑があり、大場有一委員（自民）から、決算審査との関連に関する委員長の措置方について議事進行発言、砂原委員から発言があって、午前11時16分休憩、午前11時40分再開し、知事から休憩前の砂原委員の質疑に対する答弁の後、砂原委員から休憩されたい旨の議事進行発言があって、午前11時46分休憩、午後3時

12分再開。引き続き、

砂原 清治委員（社会）から、(1)予算、決算の議決の範囲、決算審査と自治法第98条との関連、(2)補助金に関し、基本的考え方及び支出の根拠と基準、整理統合の基本方針、団体補助の条件、新生活運動協会等諸団体の事業の実態及びその必要性並びに改革の意思、黒字団体補助の再検討、補助対象団体の政治献金の有無、バス会社への補助と業界主導による政治献金との関連及び今後の指導、(3)出資金に関し、そのあり方、トラックターミナル株式会社への出資の効果及び対象企業数と公益性との関連、株式無償配付の状況と議会の議決との関連、(4)交際費に関し、内容を秘密にする理由及び今後の改善の考え、適切な決算審査のための諸資料提出の体制確立、(5)工事請負契約に関し、資格要件別契約限度額と中小企業育成政策との関連、資格要件の早期是正と年度途中改正不能の理由等について質疑、意見及び要望があり、知事から答弁。議事進行の都合により午後5時16分休憩、午後5時19分再開し、本日の議事は、この程度とすることに決定。

○5月22日（土） 午前10時37分、第1委員会室において開議、午後5時58分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 報告第2号を議題とし、総体質疑を続行、

砂原 清治委員（社会）から、(1)人件費に係る超過負担問題に関し、その実態、補助基準との相違、解消のための国への要請内容及び解消の方策、特に保健所に係る解消策、(2)繰越明許費に関し、繰越明許費と事故繰越しとの相違、年度末議決の妥当性と予算案提出時期を早める考え等、(3)工鉱業開発促進条例に基づく助成問題に関し、同条例の効果とその評価及び資本金1億円以上の企業への道単独助成数、新産都市建設促進法の現在における意味、新産法に基づく49年度道税免除の状況及び同法に基づく不均一課税並びに工鉱業条例適用の意義、政策的工場誘致の必要性の有無並びに優遇措置中止の考え等、(4)決算審査意見に関し、予算配当額を超える支出負担行為等数年間連続指摘事項の未改善の理由及び指導内容、工事の施工管理不備による不出来の実態とその未然防止のための指導の徹底、各種手当過不足払いの実態と原因及び指導強化方等について（関連して、藤井虎雄委員（社会）から、部長答弁と知事の考え方との同一性、新産法の延長に伴う工鉱業条例の適用内容変更の考え及び低工法、産炭法適用地域への政策的配慮等について）

質疑、意見及び要望があり、総務部長及び代表監査委員から答弁。伊藤豪委員（道政）から、仁木町の助役選任に係る昨日の砂原委員の質疑と決算委員会の任務及び今後の委員会運営における旧来の慣習の改善に関

する議事進行発言があって、委員長から応答。議事進行の都合により午後零時36分休憩、午後5時58分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

② 明24日の審査予備日に委員会を開催することに決定。

○5月24日（月） 午後1時22分、第1委員会室において開議、午後3時3分散会、委員長 影山 豊（社会）

○ 報告第2号を議題とし、総体質疑を続行、

川崎 守委員（共産）から、財政問題に関し、知事に対する全日空の特別優待証の取扱い、渡切り交際費の内容とその根拠等について質疑及び意見があり、総務部長から答弁。議事進行の都合により午後2時10分休憩、午後2時18分再開。引き続き、

川崎 守委員（共産）から、渡切り交際費の支出内容の明確化の必要性と提出できる資料の範囲、機関委任事務に伴う道の負担額と実態調査の状況等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総体質疑を終結。

○5月25日（火） 午前11時5分、第1委員会室において開議、午後5時15分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 審査日程の変更についてはかり、異議なく配付のとおり変更することに決定。

② 労働部所管に対する質疑に入り、

青木 延男委員（社会）から、労働行政に関し、49年度の重点施策、地労委の業務量増大と公益委員の選任のあり方、47年度からの3年間の不当労働行為事件等の処理の把握状況、係属事件集中期間の公益委員の活動体制と中小企業の労使紛争への対応策、地労委の委員定数の増員と係属事件の解決率に対する見解、労働行政に対する支庁の取組み体制、労働教育に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁。議事進行の都合により午後零時45分休憩、午後1時59分再開。ついで、

川崎 守委員（共産）から、心身障害者の雇用問題に関し、道心身障害者雇用協会に対する補助内容と算定基準の有無、雇用奨励金の支給の実態、企業の雇用状況を公表しない理由等について

質疑及び意見があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後2時49分休憩、午後2時52分再開。

③ 農地開発部所管に対する質疑に入り、

青木 延男委員（社会）から、工事発注に関し、格づけ業者に対して指名業者の割合が少ない理由、地元中小企業に対する積極的な発注の必要性、共同企業体の業者構成に対する見解、今後の発注に対する考え方、発注をめぐる業者と関係職員の癒着防止に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。大場有一委員（自民）から、業者と関係職員の不正事実の有無に係る解明状況の公表について議事進行発言があり、委員長から応答。星野健三委員（社会）、大場委員から意見があって午後4時7分休憩、午後4時12分再開し、松本響委員（自民）から、理事者における善処方の議事進行発言があり、委員長から応答。ついで、

星野 健三委員（社会）から、農業基盤整備事業に関し、3期計画と基盤整備計画の基準年次の相違及び基準年次と計画終了年次における進捗率並びに事業ごとの達成面積、調査主体による結果の相違と信ぴょう性及び独自調査の有無並びに調査実施の意思等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。星野委員から協議のため休憩されたい旨の議事進行発言があって、午後4時54分休憩、午後5時14分再開し、本日の会議は、この程度にとどめることに決定。

○5月26日（水） 午前11時1分、第1委員会室において開議、午後4時16分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 農地開発部所管に対する質疑を続行、

農地開発部長から、昨日の星野委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、(1)農業基盤整備事業に関し、耕地面積に係る国の調査と道の調査との相違の理由とその解明の必要性、農地開発事業の遅れの理由と農家負担の増高に対する対策、土地利用計画と基盤整備計画との関連、(2)出資金、補助金に関し、開拓融資保証協会を農業信用基金協会に統合した経緯と49年度の決算内容、農地開発部所管の貸付金の諸利率の根拠等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。議事進行の都合により午後零時20分休憩、午後1時39分再開。ついで、

川崎 守委員（共産）から、(1)土地改良区問題に関し、札幌土地改良区の解散認可後のトラブルの経緯と内規設定に係る道の指導責任、(2)農業土木工事に関し、下請契約の届け出の実態とその指導方及び道の責任等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁。

議事進行の都合により午後2時21分休憩、午後2時27分再開。引き続き、

川崎 守委員（共産）から、下請契約の無届業者に対する指名停止等措置の考え等について
質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後2時40分休憩、午後2時45分再開。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

青木 延男委員（社会）から、道道東神楽旭川線に関し、新大正橋等の新ルートの実施計画とその進捗状況及び今後の見通し、用地買収の状況と今後の方針等について、

星野 健三委員（社会）から、(1)繰越明許費に関し、住宅都市部の繰越明許費の内容と理由、福祉住宅建設を繰越した理由、49年度に多額の繰越費を出した理由、(2)発注工事に関し、一括発注の条件、分離発注における建築工事の実態と問題点及び中小企業に対する配慮方、(3)貸付金に関し、各種団体等に対する貸付金の利率のアンバランスの理由、木造共同住宅防災整備資金貸付金等の末端金利等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があって、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

③ 明27日は委員会を開かず、書面審査を行なうことに決定。

○5月28日（金） 午前10時38分、第1委員会室において開議、午後5時17分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 民生部所管に対する質疑に入り、

佐々木 利昭委員（自民）から、生協の資金貸付規則に関し、金利等の規則改正の考え等について、

保格 博夫委員（社会）から、(1)不用額に関し、精薄者施設措置費と精薄者等に対する交通費助成において不用額が生じた理由及び今後の方針、老人の介護手当における見込み違いの原因と今後の改善策、福祉灯油の対象者の見込み違いの原因と弾力的運営の必要性、(2)法人の指導問題に関し、理事長と施設長の兼職の実態と行政指導の効果、みかげ学園の監査不能の理由と使途不明金の調査結果及び今後の指導方針等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。議事進行の都合により午後零時54分休憩、午後2時12分再開。ついで、

青木 延男委員（社会）から、生協問題に関し、運転設備資金の運用とその効果及び低利の理由、生協と地元中小商店との利害調整に対する考え方及び員外利用の実態並びに道の指導内容、生協に対する所管部の変更に對する見解等について、

川崎 守委員（共産）から、(1)アイヌ系住民及び身障者に対する運転免許取得における補助増額の考え、(2)社会保険の診療報酬の迅速な支払いに対する考え方と国への要請等について

質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。民生部長から、青木委員の質疑に対する答弁について一部訂正発言があって、民生部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後3時56分休憩、午後4時再開。

② 公安委員会所管に対する質疑に入り、

青木 延男委員（社会）から、(1)爆破事件に関し、道庁爆破事件の捜査状況と今後の見通し、火薬類等に対する指導取締り状況と今後の方針、(2)47年から49年までの凶悪事件の発生、検挙の状況と未解決事件の捜査状況、警察官の不祥事件に対する見解等について、

川崎 守委員（共産）から、交通規制のあり方に関し、深川市東高校通りの交通規制実施の経緯と地元の実情に対する見解、交通規制に係る地域住民との利害調整に対する考え方等について

質疑、意見及び要望があり、道警本部長、防犯部長及び交通部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

③ 5月29日から31日まで委員会を開かず、書面審査を行なうことに決定。

○6月1日（火） 午前11時4分、第1委員会室において開議、午後4時27分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 土木部所管に対する質疑に入り、

星野 健三委員（社会）から、不用額発生の理由、不用額と繰越額の区別、橋りょう新設改良費の成果内容等について

質疑及び意見があり、土木部長から答弁があって、議事進行の都合により午前11時31分休憩、午前11時34分再開し、休憩前の星野委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、成果説明書のあり方、土木事業の業者の格付け別発注額と分離発注状況について

質疑及び意見があり、土木部長から答弁があって、議事進行の都合により午前11時48分休憩、午後1時36分再開し、土木部長から、休憩前の星野委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、下位格付け業者に対する分離発注拡大の考え、道道の延長キロ数と調査済み延長キロ数及び今後の調査計画、道管理河川の総延長、河川敷地面積と未調査面積及び早期調査の必要性、急傾斜地対策の今後の取組み姿勢、北海道建設業信用保証株式会社の保証契約に基づく支払い引受けの

件数と金額及び上位格付け業者が多いことと制度の趣旨との関連、業者の格付けの妥当性、制度の再検討の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があって、土木部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後2時56分休憩、午後3時2分再開。

② 衛生部所管に対する質疑に入り、

星野 健三委員（社会）から、不用額発生の理由と減額補正をしなかった理由、道衛生団体連合会等道費補助団体の事業内容、会費収入の少ないことの当否、対がん協会の赤字決算の原因、団体補助金の見直しと増・減額理由、アルコール中毒患者のアフターケアの重要性と断酒会への補助金の増額の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。

○6月2日（水） 午前11時10分、第1委員会室において開議、午後4時32分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 商工観光部所管に対する質疑に入り、

青木 延男委員（社会）から、地熱問題に関し、道の基本的な考え方と具体的な対処方、濁川、白水沢両地区における今後の取組み方、白水沢地区の発電利用の可能性及び経済性との関連並びに旭川地区への温水輸送に対する考え方、地熱開発に対する道の体制と立法措置の要請方、環境破壊との関係、白水沢の水利権の調整及び道路造成問題並びに第三セクターの早期決定と高率助成に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後零時24分休憩、午後1時45分再開。ついで、

星野 健三委員（社会）から、(1)採石業に係る行管庁の指摘事項に関し、その措置内容と決算資料における記載の必要性、行政指導の責任と今後の指導方針、(2)不用額に関し、中小企業振興資金貸付金等の不用額発生の原因と50年度予算における措置内容、(3)中小企業設備合理化資金における貸付金の収入額と未収額、(4)補助団体に関し、道と道商連の決算報告における補助額の食違いと道商連の提出資料の妥当性等について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後2時30分休憩、午後4時31分再開し、本日の会議は、この程度にとどめることに決定。

○6月3日（木） 午前11時6分、第1委員会室において開議、午後5時1分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 商工観光部所管に対する質疑を続行、

商工観光部長から、昨日の星野委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、補助団体と出資会社に関し、道森連の一般会計と特別会計における補助金の決算内容と補助額の確定時期の妥当性及び今後の対処方、道商工研修協会に対する補助の考え方、道商工指導センターにおける分担金の性格、道観光連盟の補助事業負担金と一般事業負担金の性格、石油資源開発会社が利益配当しない理由、明治段ボール会社の経営見直し、道曹達会社への出資の理由、商工会に対する補助の効果と問題点及び将来計画の有無並びに赤字団体に対する対策と政党との関係に係る指導方針等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後零時30分休憩、午後1時48分再開。ついで、

浅野 俊一委員（公明）から、(1)道立工業試験場の新築工事に関し、当初計画と実行計画の内容及び計画修正に至った経緯、工事遅延に伴う各種の弊害と早期完成への決意及び財源確保の見直し、(2)観光事業に関し、観光振興の基本姿勢、道の観光部局と道森連の役割及び行政指導の範囲とそのあり方、観光客数の落込みに対する対処内容と道森連の事業の実施状況に対する見解、道による観光診断実施の考え、道森連の会員加盟の基準と会員制度見直しの行政指導の考え等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。議事進行の都合により午後3時17分休憩、午後3時24分再開。ついで、

川崎 守委員（共産）から、(1)マルチ商法とサラ金に関し、実態の把握状況、サラ金の行過ぎに対する行政指導の必要性と法律改正等の要請及び悪質業者公表の考え、(2)産炭地の振興に関し、地域振興整備公団による企業の張りつけ状況と今後の見直し、釧白工業団地における経済水域200海里の設定等による影響、住電精密会社奈井江工場の着工見直しと技術研修者の取扱い、未売却土地に対する課税の指導方、空知中核工業団地の地域選定の根拠と道取得用地の公団による買取りの見込み及び住宅団地の取扱い、(3)物価対策に関し、電気料金値上げに対する具体的な要請内容等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及び石炭対策本部事務局長から答弁があって、商工観光部所管に対する質疑を終結。

② 6月4日から8日まで委員会を開かず、書面審査を行なうことに決定。

○6月9日（水） 午前11時2分、第1委員会室において開議、午後5時2分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 林務部所管に対する質疑に入り、

砂原 清治委員（社会）から、補助金行政に関し、補助団体の性格と事業内容及び各団体の相違点、道森連の決算報告と道の補助金支給調書との関連等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。議事進行の都合により午前11時52分休憩、午前11時38分再開し、引き続き、

砂原 清治委員（社会）から、道森連の交際費に対する指導内容と50年度の決算内容、補助対象と経済団体であることとの関連及び黒字団体に対する補助継続の妥当性、道森連の指導部門の分離の考え、補助の整理統合の必要性、道木材青年経営者協議会に対する補助の理由と打ちりの考え等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。議事進行の都合により午後零時12分休憩、午後1時44分再開。ついで、

川崎 守委員（共産）から、林道工事に関し、厚沢部町と北松山町の工事を随意契約にした理由、特定業者に対する発注の集中の妥当性と指名競争入札のあり方及び指名登録業者の再検討の必要性、林道事業資金の貸付実施の経緯、木炭協会に対する補助の考え方等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後2時44分休憩、午後2時51分再開。

② 生活環境部所管に対する質疑に入り、

保格 博夫委員（社会）から、(1)公害監視業務に関し、鉱山鉱害対策費における不用額発生の原因、魚の大量斃死事故の原因とその対策及び残留性農業に対する研究状況、排水基準の上乗せ措置に対する考え方、(2)交通安全対策に関し、スクールゾーン設置に対する補助事業の実施状況と執行残を生じた理由等について質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。議事進行の都合により午後3時26分休憩、午後3時27分再開。引き続き、

保格 博夫委員（社会）から、(1)スクールゾーンの整備状況と補助事業の実施方法の妥当性及び今後の進め方、(2)補助金行政に関し、道暴力追放運動推進協議会に対する補助の考え方と自主財源のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。星野健三委員（社会）から議事進行発言があって、午後4時15分休憩、午後4時28分再開し、生活環境部長から補足答弁の後、引き続き、

保格 博夫委員（社会）から、協議会の主体性並びに50年度予算と補助額との関連等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。

- ③ 明10日は委員会を開かず、書面審査を行なうことに決定。

○6月11日（金） 午前10時42分、第1委員会室において開議、午後4時52分散会、委員長 影山 豊（社会）

- ① 審査日程の一部変更についてはかり、異議なく配付のとおり決定。

- ② 生活環境部所管に対する質疑を続行、

藤井 虎雄委員（社会）から、新生活運動協会の明職運動のテキストに関し、収録事例の会社名及び著者名、若年労働者の転職の是非に対する見解、労働組合に対する認識の仕方、事例と労務管理政策との関連及び政策提言団体への補助金支出の是非並びに労働行政との関連、補助金の継続支出の考え等について、

星野 健三委員（社会）から、交通安全対策に関し、交通安全対策事業に対する支出額と国庫補助額等について

質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。議事進行の都合により午前11時45分休憩、午後1時20分再開し、生活環境部長から、休憩前の星野委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、交通安全道民運動推進委員会が社団法人になる際の決算等の措置経過、予備費の会計上の取扱い等について

質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。答弁調整のため午後1時46分休憩、午後1時53分再開し、生活環境部長から、休憩前の星野委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、道民総ぐるみ運動に係る予算と決算の食い違いと予算の流用措置の妥当性及び事務局費に不用額を生じた経緯並びに補正後と決算における予算現額の食い違いの理由等について

質疑及び意見があり、生活環境部長及び交通安全対策事務局長から答弁。答弁調整のため午後2時24分休憩、午後2時36分再開し、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、損益計算書と貸借対照表等資料提出方の要求があり、議事進行の都合により午後2時38分休憩、午後4時51分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○6月12日（土） 午後1時51分、第1委員会室において開議、午後1時59分散会、委員長 影山 豊（社会）

- ① 生活環境部所管に対する質疑を続行、

生活環境部長から、昨日の星野委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、全額補助の団体における貸借対照表作成等経理のあり方、予算流用の適正化について

質疑があり、生活環境部長から答弁。松本馨委員（自民）から、適確な答弁のための資料整備のため本日の議事はこの程度にとどめられたい旨の議事進行発言があって、直ちに散会。

○6月16日（水） 午前10時13分、第1委員会室において開議、午後5時4分散会、委員長 影山 豊（社会）

- 生活環境部所管に対する質疑を続行、

生活環境部長から、12日の星野委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

星野 健三委員（社会）から、交通安全推進委員会の運営等について、予算流用の妥当性、法人への移行に伴う会計処理のあり方、資産評価の適否、決算資料の不備、道の指導監督の考え方、社団法人としたことの当否、会費収入と補助金の比率、会員を団体代表者とするものの当否、法人の自主性尊重と道の出向職員との関連、交通道児育英事業の対象者及び原資、育英事業を財団法人で行なう考えと対象拡大等事業の充実強化、道新生活運動協会及び道民運動推進会議の設立目的と道費補助の必要性、道消費者協会の財務処理の妥当性等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。議事進行の都合により午後零時29分休憩、午後1時47分再開。ついで、

川崎 守委員（共産）から、(1)苫東の環境アセスメントに関し、12省庁連絡会議の経過と環境庁の見解及び道の受けとめ方、道の環境アセスメントの調査方法、苫小牧地区の自然保護関係調査報告書の内容と道自身の確認の有無、鳥類、魚類の生息実態とのそご等について

質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁。議事進行の都合により午後2時34分休憩、午後2時47分再開。生活環境部長から、休憩前の川崎委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

川崎 守委員（共産）から、自然保護関係調査報告書について、北大演習林の鳥類相の実地調査の有無とバックデータの提出方について

質疑及び要求があり、生活環境部長から答弁があって、議事進行の都合により午後3時休憩、午後3時17分再開し、生活環境部長から、休憩前の川崎委員の資料要求について補足答弁の後、引き続き、

川崎 守委員（共産）から、道の環境アセスメント

の訂正の考え、二酸化いおうに係る道の環境基準の改定理由と国の基準との関連及びWHOのガイドにおける位置、いおう酸化物に係る環境基準についての専門委員会報告の受けとめ方等について

質疑及び意見があり、生活環境部長から答弁があった、議事進行の都合により午後3時46分休憩、午後3時55分再開し、引き続き、

川崎 守委員（共産）から、(1)自然環境保全について、民間団体等の研究成果、指摘等を尊重する考え、苫小牧地域の公害防止計画と公害防止協定の内容、各企業ごとのいおう酸化物負荷量の削減目標達成の方法、企業との公害防止協定の提出方、(2)家庭用灯油に関し、価格の推移、道民生活安定条例適用の有無、条例10条の解釈と適用する必要性等について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があった、生活環境部所管に対する質疑を終結。

○6月17日（木） 午前10時47分、第1委員会室において開議、午後4時37分散会、委員長 影山 豊（社会）

○ 農務部所管に対する質疑に入り、

藤井虎雄委員（社会）から、理事会の協議内容及び特定会派への協力要請に関し議事進行発言があり、委員長から応答があった、議事進行の都合により午前10時52分休憩、午後1時15分再開。委員長から、休憩前の藤井委員の発言に関する理事会協議の結果について報告の後、

砂原 清治委員（社会）から、小樽市毛無山の農地買収に関し、実態把握の程度、仮登記の有無と土地保有税、譲渡所得税支払いの有無、三菱地所と有楽土地及びユー・アンド・アイ・マツザカとの契約内容、譲渡所得税の支払い者及び支払い時期等について

質疑があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により午後1時36分休憩、午後2時51分再開し、農務部長から休憩前の砂原委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

砂原 清治委員（社会）から、金銭貸借契約と譲渡所得支払いの事実の法的解釈、農地法違反事実に対する早期告発の考え方、本件と国土法第14条及び第24条並びに自然保護条例との関連、農地に関する行政姿勢転換の考え方等について、

保格 博夫委員（社会）から、(1)事業休止農協に関し、休止農協数、休止の実態の類型、整理促進の状況と48年度以降統合できなかった理由、再建希望組合の扱いと解散命令を妥当とする組合数、出資、負債を有する農協の整理に対する具体的指導方法、今後の整理促進の考え方、(2)少額交付金に関し、少額の意味と額の積算基礎、手数料徴収及び交付金支出の根拠と規則

改正の時期並びに徴収、交付の実績、極少交付金額の改善の意思と51年度中解決の見通し、委員会における指摘事項の受けとめ方等について、

青木 延男委員（社会）から、野菜の生産・流通対策に関し、国及び道の方針と具体的成果、野菜集団産地育成対策事業費補助金の内容、産地近代化施設設置の目的及び6町村5産地に設置した理由、施設別の規模及び着工、完成年月日並びに補助事業としての決算額等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。答弁調整のため午後4時35分休憩、午後4時36分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○6月18日（金） 午前10時53分、第1委員会室において開議、午後4時28分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 農務部所管に対する質疑を続行、

農務部長から、昨日の青木委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

青木 延男委員（社会）から、野菜生産地の近代化施設設置の地域選定の理由、集出荷貯蔵施設の利用状況と施設設置による成果、野菜価格安定資金造成事業及び指定野菜価格の補給金制度の概要と実績、冬野菜の安定供給対策の内容、冬野菜の確保対策事業補助金の生産品目別、生産量、生産額及び出荷先、冬野菜の簡易貯蔵庫の利用状況、西当別の簡易貯蔵庫の事故原因と今後の対処策等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により午後零時22分休憩、午後1時43分再開。ついて、

川崎 守委員（共産）から、鶴川農協の土地問題に関し、土地取得の状況及び道の常例検査と指示の経過、常例検査の方法及び指導後における土地取得の関連並びに土地利用計画の内容、宅地造成申請に係る了知時期と道の監督権との関連及び措置内容、白老振興公社に対する貸出し事実の了知内容、道の指導及び指示の妥当性とそのあり方、違反行為に対する処分の方考え方、定款変更の内容等について

質疑及び意見があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により午後3時5分休憩、午後3時13分再開し、農務部長から、休憩前の川崎委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

川崎 守委員（共産）から、定款の変更内容と宅地造成との関連及び道の指導監督のあり方等について質疑及び意見があり、農務部長から答弁。議事進行の都合により午後3時42分休憩、午後3時48分再開し、農務部長から、休憩前の川崎委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

川崎 守委員（共産）から、(1)指導の徹底しない要因と指導上の問題点、(2)倶知安町所在国有林の貸付けに関し、貸付け及び契約解除の経過、目的外使用に対する措置をしなかった理由及びその間の監督体制、町の借入れ申込みとその計画内容、使用料すえ置き等の妥当性、契約方式を改善する考え、H体大体育施設の建設見直し、届け出等貸付け条件の遵守状況と取扱いの適正化等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があった、農務部所管に対する質疑を終結。

- ② 委員長から、明19日を休会とすることをはかり、異議なくそのことに決定。

○6月21日（月） 午前10時56分、第1委員会室において開議、午後4時29分散会、委員長 影山 豊（社会）

- ① 開発調整部所管に対する質疑に入り、

星野 健三委員（社会）から、(1)第3期計画と土地利用基本計画との関連に関し、3期計画における土地の用途区分別の43年基準値と55年目標値及びその他の内容、土地利用計画における用途別の数値、自然公園地域及び自然保全地域と3期計画の数値との関連、農用地及び宅地に対する具体的な考え方と55年における見直し、(2)苫東用地の取得及び処分状況に関し、買収及び処分の現状、買収保留の意味と今後の取扱い及び企業局の買収予定面積、未処分地に係る買収価格及び処分の方法並びにその原資、苫東開発株式会社の50年度決算見直しと長期借入れ金、支払い利息、当期欠損金等の概要並びにその処理方針、丸紅の出資に対する考え方と対処の内容、(3)石狩開発株式会社の土地買収に関し、買収内容と処分先別の面積、買収除外及び買収不能の内容、買収に要する原資と今後の処分方針等について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。議事進行の都合により午後零時15分休憩、午後1時45分再開。ついで、

川崎 守委員（共産）から、(1)軍事基地に関し、東千歳等の通信基地の活動内容と自衛隊の任務との関連、道の認識と撤去要請の必要性、(2)3期計画に関し、2期計画の総括的な評価と道央新産都市建設計画の功罪、人口の道央集中に対する見解及びその要因、石炭産業の落込み、農家戸数及び農業人口の減少に対する見解、3期計画における一次産業人口の減少と重化学工業就業人口との関連、石炭及び米の減少計画に対する見解並びに3期計画の内容の妥当性、業種別の就業人口について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。答弁調整のため午後3時9分休憩、午後3時15分再開し、開

発調整部長から、休憩前の川崎委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

川崎 守委員（共産）から、3期計画における生活水準の49年度実績等について

質疑、意見及び要求があり、開発調整部長から答弁があった、開発調整部所管に対する質疑を終結。理事者交替のため午後3時23分休憩、午後3時27分再開。

- ② 水産部所管に対する質疑に入り、

松本 響委員（自民）から、漁船損害補償請求事件に関し、訴訟の経過と受けとめ方、所有船の検認と指導の妥当性、換装手続に要する日数、漁民の声の取りあげ方と道の水産行政のあり方、漁協を脱退させられた事実関係の調査と指導方、過大積載等の違法船の適正化等について、

砂原 清治委員（社会）から、(1)水産加工排水の処理問題に関し、民間研究開発促進事業補助金の成果とこれによる暫定基準及び道の上のせ基準の数値との関連、実用化による実績について

質疑及び意見があり、水産部長及び同部技監から答弁の後、砂原委員から議事進行発言があって、午後4時25分休憩、午後4時28分再開し、本日の議事は、この程度にとどめることに決定。

○6月22日（火） 午前11時20分、第1委員会室において開議、午前11時51分散会、委員長 影山 豊（社会）

- 水産部所管に対する質疑を続行、

水産部技監から、昨日の砂原委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

砂原 清治委員（社会）から、水産加工排水処理の新機種開発の状況と遅れている理由及び道の取組み姿勢、水産加工排水処理施設の実用化事業の実施方針、排水処理施設の現況把握等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○6月23日（水） 午前11時5分、第1委員会室において開議、午後4時2分散会、委員長 影山 豊（社会）

- ① 水産部所管に対する質疑を続行、

工藤 啓二委員（公明）から、水質汚染問題に関し、漁業被害の状況、白老の大昭和製紙による汚染事故に対する対応、福島町吉岡漁協に係る漁業振興対策事業の成果、青函トンネル工事に伴う漁業補償の内容と道の対応、異常出水事故による無処理排水に対する見解と被害状況及び止水作業等に使用したセメント等の影響並びに一時見舞金に係る仲介の考え等について質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により午後零時26分休憩、午後3時35分再

開。

② 委員長から、伊藤豪委員（道政）から申し出の5月23日の発言の取消しについてはかり、異議なくそのことに決定。

③ 水産部所管に対する質疑を続行、

川崎 守委員（共産）から、行管指摘事項のさけ混獲に関し、指摘の具体的内容と道の指導内容、遊楽部川、長万部川における稚魚放流の実績低下の原因と道南での放流増計画との関連等について

質疑があり、水産部長から答弁。議事進行の都合により午後3時48分休憩、午後3時50分再開し、水産部長から、休憩前の川崎委員の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

川崎 守委員（共産）から、放流、捕獲、混獲の相互関係、道東での捕獲と道南への回遊減との因果関係、道南におけるさけ漁の早期免許方等について質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって、水産部所管に対する質疑を終結。

④ 今後の審査日程について、正副委員長に一任することに決定。

○7月15日（木） 午後7時25分、第1委員会室において開議、午後7時27分散会、委員長 影山 豊（社会）

① 今後の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることに決定。

② 付託の報告第2号（昭和49年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）について、閉会中継続審査の扱いとすることをはかり、異議なくそのことに決定。

（都合により、8月開催分は次号以降に掲載）



全国都道府県議会議長会

○9月2日（木） 全議会議室において役員会を開催。会長（東京都議長）のあいさつの後、佐賀県議長から、国体協賛の都道府県議会議員野球大会について謝辞があって、協議に入り、第68回定例総会開催月日について、天皇在位50周年記念式典との関連から、11月17日に延期することに決定。ついで、全議事務局長から、本会会則の改正検討事項について説明の後、参与会における今後の検討に基づき協議することに決定。次に、第70回定例総会の開催地について、岐阜県議長から発言があって、異議なく東海北陸ブロック（岐阜県）開催と決定。次に、佐賀県議長から、第28回議員野球大会における主将会議の決定事項について説明の後、意見交換があって、参与会の検討をまって協議することに決定。ついで、全議事務局長から、中国友好訪問団の経過について説明の後、明年度も団員15名、2週間程度の予定で実施することとし、今後具体的な内容を打ち合わせることに決定して、閉会した。

都道府県議会議員共済会

○9月2日（木） 全議長室において理事会を開催。会長（東京都議長）のあいさつの後、協議に入り、欠員中の副会長の互選について、関東ブロックから選出することに決定。ついで、自治省公務員部長から、議員年金制度の経過と問題点について説明の後、各県議長から質疑応答があって、閉会した。

10都道府県議会議長会

○8月11日（水） 兵庫県神戸市において開催。地元兵庫県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出して、議事に入り、まず、福岡県議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議、決定。ついで、次回開催地を静岡県に決定の後、本会会則の一部改正（開催都道府県交付金の改訂）について決定。次に、全議事務局長から、最近の中央情勢について説明の後、広島県及び東京都議長から、全国都道府県議会議長会会長の退任及び就任のあいさつがあって、閉会した。

1 家庭用灯油及びプロパンガスの価格抑制と安定供給について

2 地下鉄建設事業に対する公共補助制度の改善について

て

- 3 中小企業の事業分野の確保等について
- 4 大規模小売店舗の進出対策について
- 5 救急医療体制の整備について
- 6 公立高等学校新設に対する国庫補助制度の拡充について
- 7 難病対策に関する特別措置法の制定について
- 8 暴走族の取締りの強化について

北海道東北6県議会議長会

○9月9日(木) 山形県山形市において開催。地元山形県議長及び知事のあいさつに引き続き、議長に地元議長を選出し、新任の青森県正副議長の紹介の後、全議事務局長から最近の中央情勢について説明があって、協議に入り、まず、青森県議長から、前回議決事項の処理及び結果報告を行なって、これを了承。ついで、次の事項並びに緊急追加議案の「異常気象による冷害対策について」については北海道東北6県共同提出とすることとし、いずれも原案のとおり決定の後、議決事項の処理方法について決定。次に、次回開催地を宮城県に決定の後、全議事務局長から連絡事項の説明があって、閉会した。

- 1 第3次国連海洋法会議に関する要望について
- 2 重度心身障害者(児)・老人・乳幼児等の福祉対策の推進について
- 3 高等学校の新増設に対する国庫補助制度の拡充強化について
- 4 炊飯給食施設設備補助基準の拡充について
- 5 公立文教施設の整備強化について
- 6 労働安全衛生行政の拡充強化について
- 7 東北・北海道新幹線鉄道及び青函トンネルの建設促進について
- 8 家庭用灯油、液化石油ガスの安定供給について
- 9 りんご腐らん病の対策の促進について
- 10 飼料生産基盤整備事業の促進について
- 11 広域農業開発事業並びに大規模林業圏開発事業の促進について
- 12 漁業改良資金融資制度の創設について
- 13 第5次治山事業5カ年計画の拡大について
- 14 水資源対策の強化について
- 15 東北開発促進法の抜本的改正等について



8 月 の メ モ

- 1 ○木村福島県知事、一連の汚職事件の責任を取って辞任。
○歯科診療、保険診療と自由診療の2本立て制へ移行。
- 3 ○国連海洋法会議、公式草案の決着めざし開会。
○閣議、経済閣僚協議会に公取委員長もオブザーバーとして参加することを決定。
- 5 ○札幌高裁、長沼訴訟で一審判決を取消し、住民の訴えを却下する逆転判決。自衛隊問題については一見明白論の立場を明らかにした。
- 6 ○札幌地検、大野北教組委員長を地公法違反で起訴。
○福島地検、木村守江福島県知事を収賄容疑で逮捕。
- 7 ○苫東開発スタート。胆振管内厚真町で苫東港の港湾建設始まる。
- 9 ○三木首相、歴代総理として初めて長崎市の平和祈念式典に参列。
- 10 ○人事院、国家公務員の給与を4月1日にさかのぼり、平均8.77%、1万3,715円(定昇込み)の引上げを勧告。ボーナス(期末、勤勉手当)は史上初めて減額。
- 11 ○自治省、50年下期の政治資金収支報告書を公表。収入総額441億4千余万円で初めてダウン。透明度は21%で最低を記録。
- 12 ○イスタンブール空港、武装ゲリラがイスラエル航空機の乗っ取りを図り銃撃戦。乗客4人(うち日本人1人)死亡。
- 13 ○経団連訪ソ代表团、ヤルタでブレジネフ・ソ連共産党書記長と会談。
- 16 ○東京地検、田中角栄前総理を受託収賄罪と外為法違反で起訴。
○米上院外交委、25年前のダレス証言公表。北方領土をテコに、ソ連に対し対日講和条約参加を迫っていたことが明らかにされた。
- 17 ○中国四川省とフィリピン・ミンダナオ島で、マグニチュード7.2と7.8の強い地震が連続発生。
○大蔵省、7月の国際収支を発表。総合収支7億2千万ドル、貿易収支10億ドルの黒字。
- 18 ○新潟地検、信濃川河川敷問題で田中前首相ら5人を不起訴処分。
○板門店で、北朝鮮の警備隊と米・韓両軍将兵が乱闘。米将兵ら11人死傷。
- 20 ○東京地検、佐藤孝行元運輸政務次官を受託収賄罪容疑で逮捕。
- 21 ○東京地検、橋本登美三郎元運輸大臣を受託収賄罪容疑で逮捕。
○道教委、来年度の公立高校の入試は従来通りの方法で実施、総合選抜制導入の見送りを決定。
- 23 ○ルクソール空港、エジプト航空機がハイジャックされたが、約8時間後犯人グループが投降。乗客全員無事解放。
- 24 ○宮沢外相、参院外務委で北方領土の視察を表明。
○全国知事会、木村前福島県知事の辞任に伴う後任会長に奥田良三奈良県知事を選任。
- 27 ○道開発庁、来年度道開発予算について、20.5%増の4,464億円を概算要求。
○米マサチューセッツ工科大、人工遺伝子合成に成功。
- 28 ○カドミウムの人体影響について研究していた専門家グループは、イタイイタイ病との因果関係を認める報告書を環境庁に提出。
○ソウル地裁、民主宣言事件で金大中氏に懲役8年、被告18人全員に実刑判決。
- 31 ○道、北電の伊達火力パイプラインの建設許可申請に対し、消防法に基づき申請以来1年ぶりに許可。
○国鉄監査委、木村運輸相に50年度報告書を提出。年間9,147億円の赤字、繰越欠損金3兆円の大台。新線建設は、当面見送れなどと提言。

9月のメモ

- 1 ○道警、道庁爆破容疑で大森勝久を再逮捕。
- 4 ○外務省、北海領土幕参の中止を決定。ソ連側が幕参団に、今年から、正規の出入国手続きを要求してきたため。
- 5 ○KLM機、ニースからアムステルダムへ向かう途中、パレスチナ・ゲリラに乗っ取られる。20時間後、人質全員を釈放して投降。
- 6 ○ソ連ミグ25戦闘機、米国亡命の途中、函館空港に緊急着陸。
- 8 ○文部省、各都道府県教育委員会に対して、「業者テスト」の自粛を通達。
- 9 ○毛沢東中国共産党主席、死去。
- 10 ○東京地検、元運輸相橋本登美三郎と元運輸政務次官佐藤孝行を受託収賄罪で起訴。
- 11 ○宮沢外相、現職外相として初めて北方領土を現地視察。
- 13 ○台風17号、西日本を中心に大きな被害。
- 15 ○第1次三木改造内閣、発足。
- 16 ○第76臨時国会、召集。財政特例法案、ロッキード事件等が焦点。
 - 道、堂垣内知事を本部長とする「道冷害対策本部」を設置。
 - 著作権審議会（文化庁長官の諮問機関）、コピーの規制の方向を打ち出す報告書をまとめた。
 - 国税庁、「50年分民間給与の実態」をまとめた。民間サラリーマンの平均年収は203万円。物価高騰で実質ダウン。
- 17 ○石炭鉱業審議会、経営部会北炭再建で中間報告。労使合意が前提、政府全面依存にクギをさした。
 - 道、新長期計画構想で、本道人口620万人前後（62年度）、実質経済成長率7.2%をめざす。
- 19 ○自治省、「49年度行政投資実績」を発表。福祉・文教を重点に対前年度比32.8%増。本道は6.3%で全国3位。
- 20 ○防衛庁、ミグ25戦闘機の機体解体作業を開始。
 - スウェーデン、社会民主党が44年間続いた政権を失う。
- 24 ○ローデシア、スミス首相が、2年以内に黒人多数支配へ移行することを発表。
 - 道衛生部、「50年簡易生命表」を発表。道民の平均寿命は、男71.42才、女76.41才。
 - 帯広市職労、期末手当減額修正問題について、市を相手に釧路地裁へ訴え。
- 27 ○公労協、国鉄・電電両公社職員のベア仲裁裁定の完全実施を求める統一ストを中止。
- 28 ○経済企画庁、51年度国民生活白書を閣議に報告。安定成長時代に対応した底流変化が現れ始めていると分析。
- 29 ○グロムイコ外相、日ソ外相会談で、安全操業・北方幕参などについては、「法律通り厳しく」措置すると述べ、ミグ事件に対する報復措置を示唆。